

特徴 氷上のカーリングをフロア用に改良。ストーン（合成樹脂製）を特殊なカーペット上で滑らせ、ポイントを相手チームと競う競技。

人数 1チーム3人（競技）

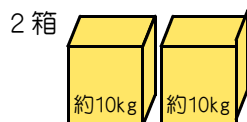
場所 屋内

貸出用具



段ボール：高さ34cm×
幅30cm×奥30cm

1セット



マット：直径約30cm×長さ約2m



ご自分で簡単に組み立てられます

セット内容

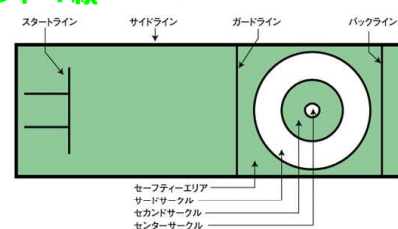
マット1枚

大きさ：10m×2m

ストーン6個

大きさ：
直径27cm

1つ 3kg



ルール

ユニカール

1. 1チーム3人で、2チーム6人で試合を行います。
2. 先攻、後攻は初回のみコイントスなどで決め、2回目以後は前回に得点をあげたチームから始めます。前回は同点であった場合、先攻、後攻の順序は前回と変わりません。
3. 先攻チームプレイヤーから、スタートラインに立ちストーンを交互に投げます。6人全員が投げ、得点を判定。
4. 得点は、サードサークル内のセンターサークルに一番近いストーンのチームに与えられる。同距離の場合・サークル外の場合は両チームとも0点。サードサークル内でセンターサークルに最も近い相手チームより、内側にある個数が得点（1個1点）。6ゲーム行い、その総得点を競います。
5. 総得点が同点の場合は、ターゲット方式（1チームの3人がストーンをどけずに投げ、センターサークル3点、セカンドサークル2点、サードサークル1点でチーム合計を出し、合計得点の多いチームの勝ち。）を行う。

無効となるプレイ

- ▼ストーンを投げる際に足がスローイングエリアのラインを踏んだり、越えてしまった場合は失格。
- ▼ガードラインを完全に越えていないストーンは失格。但し他のストーンにあたって止ったストーンは有効。
- ▼投けたストーンが転がっている状態でガードラインを越えた場合、失格。
- ▼バックライン、サイドラインから完全に外れたストーンは失格。
- ▼有効エリア内にあり且つサークルに触れていない先攻の第一投目ストーンを後攻の第一投目ストーンがあてて有効エリア外にはじき出した場合、後攻の第一投目ストーンが失格となり直ちに除外され、先攻の第一投目ストーンは元の位置に戻されます。
- ▼他のストーンに乗り上げてしまったり、横転したストーンは失格。

無効となったストーンの措置

- ▽ただちに除外くものとします。無効となったストーンによって移動させられたストーンについては、元の位置に戻します。元の位置が不明確な場合は、アドバンテージルール（移動させられたストーンのチームは、そのまゝの状態ゲームを続行するのか、その回を無効にしてやり直すかのいずれかを選択）を採用します。